

日本橋駅(地下鉄堺筋線・千日前線)③

人形浄瑠璃の殿堂! 国立文楽劇場へ

近鉄日本橋駅(近鉄難波線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.125

地下鉄日本橋駅

① 谷崎潤一郎文学碑

● 谷崎潤一郎(1886~1965)は東京生まれの小説家で、大正12年(1923)の関東大震災を契機に関西に移り住み、その伝統文化や風土に感化されて『春琴抄』『細雪』など大阪を舞台にした数多くの名作、傑作を世に生み出しました。文学碑には『蓼喰ふ蟲』の一節が刻まれています。



② 国立文楽劇場

● 昭和59年(1984)開館。ユネスコの世界無形遺産に指定されている人形浄瑠璃(文楽)の公演を中心に、歌舞伎、舞踊、邦楽、落語、漫才、浪曲などの興行も開かれて、上方芸能の一大発信文化拠点です。舞台の模型、三味線、人形、衣装の展示室などもあります。

③ 下大和橋

● かつて大和町(東横堀川から日本橋筋付近)があり、それが橋名の由来です。金比羅詣の舟の発着場があり、参詣客相手の舟宿でたいへん賑わったといえます。明治36年(1903)には巡航船の乗船場ができ、最盛期には1日2万人の利用客がいましたが、市電の拡張にともなって大正3年(1914)に廃止されました。

④ 島之内たに川

● 昭和44年(1969)に元芸妓の谷川恵美子氏が料亭を買い取って創業しました。南地のお茶屋文化をいまに伝えています。

⑤ 上大和橋

● 道頓堀川が掘られる以前は、ここが東横堀川の終点で、この場所は「堀止め」「堀詰め」と呼ばれていました。しかし元和元年(1615)に道頓堀川が開削されると、物資の集散地として荷車などがよく集まるところになりました。

⑥ ニツ井戸跡

● 寛永11年(1634)、3代将軍の徳川家光が地子銀(現在の固定資産税)を永代免除した際に、大坂庶民は恩恵を忘れないために「仁政の鐘」をつくりました。その際に冷却水として選ばれたのが大坂一の水質を誇るニツ井戸でした。『まげずおとらず三ヶ津自

● 慢競』(天保11年(1840)刊)には「江戸の有馬の火の見」と「京都の知恩院の傘」と並び称されています。

⑦ 近松門左衛門文学碑

● 近松門左衛門(1653~1724)は江戸時代に活躍した歌舞伎・浄瑠璃の作者です。「元禄の三文人」として井原西鶴、松尾芭蕉と並び称され、浄瑠璃や歌舞伎に大きな足跡を残し、世界的にも「日本のシェイクスピア」と高く評価されています。文学碑は昭和59年(1984)の国立文楽劇場完成を記念して建立されたもので『心中重井筒』の一節が刻まれています。



地下鉄日本橋駅

